

## 炭酸泉商品化の歩み



2006年に開発された  
美顔用の炭酸泉マシーン。炭酸泉に直接顔を  
つけ、肌の引き締め効  
果を狙った製品。

炭酸フェイスバス  
「ホットポー」



人工炭酸泉のシャワーを発売する前の頭皮ケア商品として、  
2007年に開発された。ヘルメット型の容器に鉢剤で炭酸泉をつ  
くり、それを被って頭皮ケアを行う。

RAMUNE SPA の  
アプリケーションと関連商品

炭酸泉循環システム  
シャンプー台に取り付け  
て、炭酸泉を循環させか  
け流しさせるアプリケー  
ション。ヘッドスパなどの  
行程で、スタッフがそ  
ばにつかなくても自動的  
に炭酸泉の頭浸浴が可能  
となる。



ファビラス  
炭酸トリートメント  
A剤、B剤を混ぜてつくるムース状  
のトリートメント。自宅で簡単に炭  
酸トリートメントが楽しめる。

「炭酸泉浴なども同じなのですが、サロンで  
も5分から10分程度、炭酸泉に浸かっている  
は、炭酸泉をシャワーでかけるだけか、シャ  
ンブーボールに炭酸泉を溜めて、手やカップ  
で頭髪にかける施術が多かつたわけですが、  
このやり方ですと、その間、ずっとそこに人  
手が取られてしまいます。また、炭酸は物理  
的な刺激を受けると飛びやすい性質がありま  
すから、シャンブーボールの炭酸泉をかきま  
わすと、どうしても気化率が高くなります。

ケーションが用意されている。  
「炭酸泉浴なども同じなのですが、サロンで  
も5分から10分程度、炭酸泉に浸かっている  
は、炭酸泉をシャワーでかけるだけか、シャ  
ンブーボールに炭酸泉を溜めて、手やカップ  
で頭髪にかける施術が多かつたわけですが、  
このやり方ですと、その間、ずっとそこに人  
手が取られてしまいます。また、炭酸は物理  
的な刺激を受けると飛びやすい性質がありま  
すから、シャンブーボールの炭酸泉をかきま  
わすと、どうしても気化率が高くなります。

RAMUNE Spa の  
施術前と施術後の比較美と健康をサポートする  
頭浸浴をもっと身边に

一般に人の入浴習慣を見ると、  
頭や頬はお湯につかることがない。  
この部分もお湯に浸すこと。  
美と健康に寄与することはできないだろうか?  
医療分野から実用化された炭酸泉。  
これをもっと身近なものへとのコンセプトのもと、  
製品開発がスタートした。

RAMUNE Spa



ヴィータ株式会社では、炭酸美容機、炭酸温  
水製造装置、殺菌水生成装置などの製品提供  
を行ってきた。人工炭酸泉装置は、浴槽に使う  
業務用の大型装置を2004年より販売  
のコンパクトなタイプを2006年より販売  
している。ここでは、同社のユニークな商品開  
発の事例を紹介しながら、サロン向け人工炭  
酸泉装置の開発にいたる経緯を追つてみる。

まず、美容関連製品として2006年に炭  
酸フェイスバス「ホットポー」(P.79参照)を  
発売している。同社社長・太田好紀さんは、開  
発の背景をこう説明してくれた。

「炭酸泉が、肌に良いことはわかっていました  
が、浴槽向けの製品ですと、頭や頭は浸か  
らないということに気づいたわけです。どう  
にかこれを頭や頭に使えないのか考えて、ま  
ず、美顔用のフェイスバスを考案しました」

最近でこそ、炭酸泉バッケなど、美顔向けの  
商品も増えているが、「頭」と入浴するという  
発想が非常にユニークな製品である。美顔向  
けの製品の次のターゲットが、頭髪であった。  
「2007年、頭皮ケア用に「気になるタマゴ」  
という製品を開発しました。機械装置を使わ  
ずに、炭酸泉の効果が頭髪に及ぶものがつく  
れないかと考えてできたのがこの商品です」  
ボールのようなヘッドキャップの中で薬剤  
により高濃度炭酸泉を生成させ、それを被る  
というアイディア商品である。

## 快適な頭浸浴サービスのために

2009年に人工炭酸泉の小型装置の本格  
的な供給が始まり、「バス方式の「RAMUNE  
Spa」」を使った炭酸トリートメントのテス  
トを開始。モニターサロンの意見をもとに改  
良が加えられ、翌年、市場に投入された。

装置の特徴は、炭酸ガスと湯の接触面を増  
やすため、ガスの溜まった空間に湯を霧状に  
散布する空間散布方式。炭酸ガスを溶ける分  
だけ溶かす方式であるため、未溶解ガスが外  
に出ることがなく、過剰濃度にもならない。  
溶解効率が90%以上と高く、消耗品の交換が  
ないため、ガス代をメンテナンスのランニング

これを使うと、装置が自動的に炭酸浴のカ  
け流しを行ってくれるので、施術に人手がとら  
れることがない。また、シャワーヘッドを持た  
ずにすむので、炭酸泉のかけ流しを行なうが  
ら、両手で頭皮マッサージなども可能となる。  
こうした、サロンワークで使いやすいアイディ  
ア商品の他、炭酸トリートメントの開発など、  
意欲的なビジネスを展開している。

ヴィータ株式会社  
代表取締役  
太田好紀



## 施術の妨げとなる 残留物質の除去

美容室アンティカのオーナー・小針圭一さんが炭酸泉の導入を検討するようになったのは、美容師仲間と実施している情報交換を兼ねた勉強会がきっかけだった。

「知り合いの美容師仲間の間で、「シャンプー」で使用する水に含まれるカルシウムや金属が髪に付着して取りきれないとあるのではないか? それが髪の毛の硬さにつながっているのではないか?」ということが話題になっていて、どうしたらそういうものが除去できるのか、みんなで情報交換していました」

ストーブの上に鍋などを置いてお湯を沸騰させると、カルシウムがびっしり鍋につくことがあるが、そういったものが髪に残って施術を妨げる原因になつてゐるのではないか? ということは、小針さん自身も以前から気になつていたという。

「また、サロンではバーマとカラーの共存というテーマがあつて、一般に日を向けるとホームカラーのお客さまが増えているという状況もありますよね。今の時代、アルカリリースの仕事ということはサロニーに欠かせない視点で、それが叶えられるアイテムを探していました」と。

「これまで血行促進による頭皮のケアなどは、炭酸泉が出るまで、我々、美容師が容易にアプローチできる分野ではありませんでしたので、サービスとしては大きかつたと思います」

サロンで導入したのは、昨年の8月。テスト期間と位置づけ、来店客全員に炭酸泉を使って施術し、「本格導入した場合、幾らだつたら、これを利用しますか?」を年内一杯かけて聞き取りアンケートを取つたそうだ。

### 施術の安心感を高める

導入後の状況だが、施術したお客様のコンディションは、明らかに以前より改善している手応えを感じているという。

「頭皮に関しては、ブレ炭酸泉で頭皮の硬さが取れて柔らかくなつていると思います。カラーでの使用なども、色の発色がよくなることはもちろんですが、地肌がしみなくなつたという方も多いです。その他、ケミカル処理で変わつてきてることとしては、例えば、髪が細く張りのある酸性の方で、縮毛矯正あまり髪が伸びなかつた人でも、炭酸泉することによって薬剤の浸透がよくなつて、ストレート剤の効果が上がっています」

こうした実感値の高さにより、それ

そのメニューの利用状況にも変化が

①サロンの沿道には小川が流れ、水車が回るという風情のあるロケーションにある  
②アンティークな中にもぬくもりが感じられるサロン空間



#### アンティカの標準的メニュー

カラー	ブレ炭酸+カラー
バーマ	ブレ炭酸+バーマ 5分間炭酸温浴 ¥1,000
カット	ブレ炭酸+カット
頭皮クレンジング	ホホバオイル+炭酸
トリートメント	ブレ炭酸+トリートメント

3,4バーマやカラーの放置タイムなどは、炭酸泉による足浴のサービスを行っている



## 現代女性の悩みに応える 炭酸泉のパフォーマンス

利用者の年齢層も徐々に高くなり、皮膚や頭皮に悩みを抱えるお客さまが増えてきた。

炭酸泉の導入によって、そんな悩みが美容室のメニュー利用の際に

大きな阻害要因になっていたことがわかつてきただといふ。

炭酸泉によって、営業にどんな変化が現れてきたのか? 導入半年間のリポートである。

アンティカバルキエーレ  
**AnTica**  
parrucchiere

静岡県三島市

#### Salon Profile

代表 小針圭一  
サロン開設年 2003年  
店舗数 1店舗  
スタッフ総数 8名(うち2名  
非常勤)



小針圭一 (こはり・けいいち)

1967年8月3日、静岡県熱海市出身。  
高山美容専門学校卒業。  
ニューヨークでのサロンワークを経験し、帰国後、サロンを開設。

2003年8月、アンティカバルキエーレ

開設。

店舗

8名(うち2名

非常勤)

2003年8月、アンティカバルキエーレ

